

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態		選択	

教科書	MOUSA2(教育芸術社)	副教材等	Recorder Laibrary(教育出版)
-----	---------------	------	-------------------------

1 学習の目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成を目指す。

- ・広い視野で音楽をとらえ、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につける。
- ・音楽が持つ良さや美しさを自己のイメージを持って個性豊かに表現を創意工夫することができる。
- ・主体的・協働的に音楽文化に親しみ、愛好する心情を育てるとともに音楽によって生活や社会をより明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 身に付けてほしい力

☐ 学びの価値を重んじる思考力	☐ あきらめずに最後までやり通す忍耐力
☐ 規律やルールを守り、目標を追求する行動力	☐ 多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・多様な音楽や音楽の背景について理解できる。 ・自己のイメージを持って創意工夫を生かした音楽表現をする多恵の技術を身につけ創造的に表現できる。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じ取ることができる。また、それらの関わりについて考え、どのように表現するか意図を持ったり評価しながら音楽を味わうことができる。	・音楽の諸活動・文化に興味関心を持ち、主体的・協働的に音楽を親しもうとすることができる。
評価の方法	ワークシート 授業観察・聴取 実技テスト・実技発表 小テスト		

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

- ・音楽の授業では、歌唱・器楽・創作・鑑賞の各表現活動を行います。
- それぞれの表現活動を体得するためには地道な練習が必要です。はじめから「できない」「わからない」と決め付けず、意欲的に取り組み、積極的に授業に参加しましょう。
- ・特に予習は必要ありませんが、日常生活にある音楽に興味を持つようにしてみましょう。
- ・授業内で様々な楽器を使用しますが、取扱等注意の必要なものもありますので、きちんと話を聞きましょう。

音楽活動の中で得意なこと・不得意なことがあるのは問題ではありません。自分自身と向き合い、どうしたら音楽活動が楽しめるかをそれぞれが考えて欲しいと思います。音楽と楽しく関わることを忘れず、学習していきましょう。

年間授業計画

	月	単元	学習内容・目標(到達点)	評価資料・方法	評価の観点		
					①	②	③
前期	4	ガイダンス 歌唱	ポピュラー音楽の歌唱をのびのびとおおらかに歌うことができる。また、曲想を生かした表現と他者との調和を意識して歌うことができる。	観察・聴取	○	○	○
	5	ギターの独奏	曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、自己のイメージを持って表現を創意工夫することができる。	観察・聴取 課題進捗状況 実技テスト	○	○	○
	6						
	7	楽譜の読み方・書き方	楽譜の読み書きを正確に行い、表現に生かせる力を身に付けることができる。	ワークシート	○		○
		映画音楽	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。	観察・聴取 レポート	○	○	○
	8						
	9	ギター弾き語り	曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、自己のイメージを持って表現を創意工夫することができる。				
	10	リコーダーアンサンブル	曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、個性豊かに表現を創意工夫することができる	課題進捗状況 実技発表	○	○	○
	11	沖縄民謡	沖縄の民謡について楽曲にふさわしい発声や楽器の奏法などの技能を身に付ける。文化的・歴史的背景や郷土の伝統音楽の特徴について理解することができる。	観察・聴取 ワークシート 実技テスト	○	○	○
後期	12						
		世界の諸民族の音楽 「身振りを伴う表現」	世界の諸民族の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができる。	ワークシート 観察・聴取	○	○	○
	1						
	2	ヴォイサンサンブル	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりやそれによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができる	観察・聴取 ワークシート 実技テスト	○	○	○
		創作表現	構成を工夫した作品作りや、特徴を生かした作品作りを通して、創作表現に必要な技能を身に付けるとともに、個性豊かに創作表現を創意工夫する。	創作作品 ワークシート	○	○	○
	3						
		一年間のまとめ					

* 評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

教科	美術	科目	美術Ⅱ	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態		選択	

教科書	高校生の美術2(日文)	副教材等	イラストボード、コンパス、鉛筆、アクリル絵の具セット、彫刻セット
-----	-------------	------	----------------------------------

1 学習の目標

- ・道具の使い方や美術に関する知識を身につけ、表現の幅を広げる。
- ・自分自身と向き合い、自分なりの表現を模索する。
- ・美術作品への造詣を深め、物を大切に扱う心を養う。

2 身に付けてほしい力

	学びの価値を重んじる思考力	○	あきらめずに最後までやり通す忍耐力
○	規律やルールを守り、目標を追求する行動力	○	多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	指示された用法、技法を理解し、実践できる。	身につけた知識・技能を応用して自分なりに創意工夫を凝らした表現ができる。	正しい服装、私語をしない等基本的な授業マナーができていくこと。単元毎に評価のポイントを伝えるので、それを意識して授業を受ける。
評価の方法	作品制作の様子を観察。できあがった作品からも評価する。また、鑑賞の際の感想も評価に取り入れる。	提出された作品の表現をみて評価する。	授業マナー等授業への取り組みを毎時間観察し評価する。 また、出席率や忘れ物等も加味する。

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

始業のチャイムが鳴る前に授業で使用する道具の準備を済ませてください。一回の授業で終わる内容もあるので極力休まないことが望ましいです。授業に必要な持ち物等の連絡は事前に行います。余計な持ち物の持ち込みはできません。正しい服装で授業に臨むようにしてください。鋭利な刃物を扱う授業もあるので、集中して取り組んでください。

年間授業計画

	月	単元	学習内容・目標(到達点)	評価資料・方法	評価の観点		
					①	②	③
前期	4	色面構成	動きのある画面構成をする	作品の下書き		○	○
	5		単色で彩度の調節をして色を作る	制作過程の様子	○		○
	6		はみ出しや色むらをなくし、丁寧に色を塗る	完成した作品	○	○	○
	7	擬音デザイン	擬音を視覚的に伝えるデザインを考える	作品の下書き		○	○
	8		自分の意図が相手に伝わるようにデザインする	完成した作品	○		○
	9						
後期	10	木彫	道具の正しい扱い方を身につける	作業中の様子		○	○
	11		形、表面の美しさなど立体造形としての完成度を高くする	完成した作品	○	○	○
	12						
	1						
	2						
	3						

* 評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態		選択	

教科書	教育出版 書道Ⅱ	副教材等	
-----	----------	------	--

1 学習の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方をはたらかせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

①書の表現方法や形式、多様性について幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。

②書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

③主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書をとおして心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 身に付けてほしい力

○	学びの価値を重んじる思考力	○	あきらめずに最後までやり通す忍耐力
	規律やルールを守り、目標を追求する行動力	○	多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・書の表現方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ、表している。	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
評価の方法	・活動の様子 ・提出作品 ・作品ファイル ・レポート ・ワークシート		

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

- ・書道の作品制作では、大きく「臨書」と「創作」の2つの活動に分けられます。
- ・「臨書」活動では、古典を鑑賞した時の第一印象を大事にして字形構成や線質・点画・用筆の特徴を自ら分析しながら、作品制作します。他の生徒の古典のとらえ方も参考にしながら更に書き込みます。
- ・「創作」活動では、臨書から得た古典の持つ趣や線質・字形・表現技法などを駆使して、自らが選んだ字句を自らが考えた表現意図で作品制作します。それぞれの感性を生かし批評コメントも参考に更に書き込みます。
- ・「臨書」「創作」とともに、これで完成という終着点はありません。常に自己表現技法を高めるため、とことん追求する姿勢や諦めない忍耐力が毎時間の授業で求められます。共に学び合いましょう。
- ・書道Ⅰで学んだこと身に付けた力を発揮して、自己の目指す書表現を追求してください。

年間授業計画

	月	単元	学習内容・目標(到達点)	評価資料・方法	評価の観点		
					①	②	③
前期	4	○ガイダンス	・1年間の学習内容やねらいを理解				
		○篆書・篆刻の学習 ・石鼓文・金文・甲骨文	・起筆・収筆の運筆方法を学ぶ。 ・均整美や字形の特徴を知る。	ワークシート 作品	○	○	○
	5	・雅印制作	・選文、検字、印稿				
	6	○隷書の学習 ・乙瑛碑・木簡・石門頌	・隷書の基本的な運筆方法を学ぶ。 ・古隷や摩崖碑など様々な隷書を知る。	ワークシート 作品	○	○	○
	7	○様々な書体の学習	・字形の特徴と用筆・運筆との関わりから	ワークシート	○	○	○
	8	・篆書、隷書、草書の特徴	書体ごとの作品を制作する。	作品			
後期	9	・書譜・十七帖					
	10	○漢字仮名交じりの書の学習	・半紙、半切に作品制作	ワークシート	○	○	○
	11	○漢字創作 ・部屋に飾る書を書こう	・色紙などへの表現	作品			
	12	○かなの学習 ・百人一首を書く	・変体仮名を用いた作品を制作する。 ・百人一首を題材に作品制作する。 ・仮名の流れるような運筆を学ぶ。	ワークシート 作品	○	○	○
	1	○行書の学習	・行書の基本的な運筆方法を学ぶ。	ワークシート	○	○	○
	2	・祭姪稿 ・蜀素帖・晋祠銘	・余白を生かした点画配置、文字構成 ・運筆速度が違う様々な行書を学ぶ。	作品			
	3	○一年間のまとめ	・1年間を振り返り、作品をまとめる。	ワークシート 作品	○	○	○